

# 富士河口湖町立 教育センターだより

No. 5

令和元年6月12日

文責 渡辺富美夫



## “子どもが成長すれば家が変わる・町が変わる”

子育て学習会 主催 富士河口湖町立教育センター

「菊池先生は、授業もいつもこんな雰囲気でするんですか？」と尋ねてきた保護者の方はさらに「とっても楽しいですね。話に引き込まれ、いつの間にか周りの人とも笑顔でコミュニケーションをとってしまいます。」

参加者が笑顔いっぱい、とてもすばらしい宝物をいただいたような気持ちになる学習会が、5月21日に開かれました。講師は昨年各校での示範授業、先生方の研究授業や研究会での指導、教師や保護者などを対象とした学習会などを実施してくださっている元小学校教師で教育実践研究家の菊池省三先生です。今年は、町教育センターの特別アドバイザーになっていただきました。さらに様々なご指導をいただけることと思います。参加者から多くの感想をいただきました。一部ご紹介します。



・常に優しさ、温かさ、やる気のある家庭・職場、自分がまずは変わらなければ全てが変わることがないと感じました。相手は常に自己の鏡と思い、自分がほめられて嬉しいこと、元気・やる気になることを相手にしていくよう努力していきます。そして、互いに素晴らしい環境（学校、家庭、社会）をつくっていきたくて思いました。

・子どもの成長には「ほめる」がベース、心から納得しました。価値ある言葉を植林するにも大人にその力が備わっていなければ実現できません。子どもと接し、自分自身も成長できるよう行動していきたくて思いました。「ほめて・認めて」生き生きと笑顔いっぱいの子どもの姿を想像し、やる気が出てきました。

・明日の朝、子ども達に笑顔で挨拶するところから始めようと思いました。最近は焦る気持ちが多かったんだな、と振り返ってみて感じました。ほめる・叱るのメリハリを私自身がまず意識していきたくて思いました。子ども達の成長や良いところを見逃さない努力をしていきたくて思いました。

・子ども達と同じように立って歩いてコミュニケーション、楽しい時間でした。

日々の生活の中で何を意識すべきか、美点凝視を実践していきたくて思いました。

・仕事、家庭（妻や子どもとの関わり）で日々悩んでおりますが、先生のお話を伺い、今後活かせる、肩の力が抜け、楽な気持ちになりました。またこのような機会がありましたら是非参加したいと思っております。



感想にもありますように、参加者自らがコミュニケーションの楽しさ、ほめることの大切さや難しさなどを実感できるものでした。学習会では「先生は、君たちのことを『伸びたか、伸びていないか』（加点法）でみています。『できたか、できていないか』（減点法）が唯一の評価基準になれば、人生のピークがいまになってしまいます。」「ほめるも叱るも成長させるチャンスととらえよう。」「『ほめる』とは価値を発見して伝え、全ての人々の笑顔と成長につなげること」などのお話がありました。今回の学習会のタイトルは「子どもが成長すれば家が変わる・町が変わる」でしたが、まず「大人が変われば、子どもが変わる」と実感できる学習会でした。参加した皆さんが笑顔で家路に向かいました。中には、4回目という方もいらっしゃいました。「参加してよかった。」という学習会を今後も続けていきたくて思っています。